

Japanese Society for Day Care Treatment
日本デイケア学会

NEWS No.9

日本デイケア学会広報委員会
2004年6月30日発行
日本デイケア学会事務局
〒113-0033 東京都文京区本郷2-4-14
株式会社キタ・メディア内
TEL: 03-3813-6368
FAX: 03-3813-6368
E-mail: info@daycare.gr.jp
URL: http://www.daycare.gr.jp

**精神科デイケアと介護保険を
考える**

田中英樹

いま、厚生労働省では介護保険制度の見直しの一環として、精神障害者を含む障害者福祉施策との統合化を視野に検討を開始した。このことの是非を含む全般的な考察は別の機会に譲り、ここでは精神科デイケアがどのような影響を受けるかを吟味してみたい。

周知のとおり、精神科デイケアは医療サービスの一環、なかでも精神科リハビリテーションの展開プログラムとして早い時期から導入された。1974年以降は診療報酬上での位置づけも明確にし、外来の新しい治療形態として今日1,000か所を超える普及を見ている。精神科デイケアは、時間を昼間に限定した通院形式のグループ治療として、精神障害者の病状の改善、再発・再入院の抑止、生活技能の改善と再獲得、対人関係の改善、自尊心の回復、家族負担の軽減、生活圏の拡大、地域生活の維持と適応などに広く貢献しており、地域精神医療の推進に不可欠なサービスとなっている。

このように、精神科デイケアは医療保険サービスに位置づけられており、介護保険が給付対象とする保健福祉サービスとは性格を異にする。しかし、「デイケア」という名称で広く行き渡っている保健所や市町村等で展開されている非医療的なデイケア、つまりデイサービスはどうであろうか。現行介護保険による給付では、在宅サービス（通所介護）に相当するだけにカウントされる可能性は高い。しかしこれらのサービスは高齢者領域とは異なり大半が自治

体直営である。利用者の自己負担など新たな論議を呼ぶであろう。一方、精神科デイケアも間接的に影響を受けよう。現行介護保険による給付では、在宅サービスのうち、通所リハビリテーションに類似しており、精神科デイケアに医療保険サービスとしての純化を求められてくるからである。現在、利用期限も明確でない、言わば生活維持型のデイケアが混在して行われており、医療給付の対象としては、施設基準や職員配置だけでなくその目的や機能が問われてこよう。

介護保険との障害者施策の統合化は、精神科デイケアにとってある意味で本質的な論議の契機になることが予想される。精神科デイケアが何をめざすサービスで、どのような機能を持つべきか、入院医療に替わる役割と効果を含めてその答えを用意しなければ、介護保険で給付される通所サービスとの差別化は図れない時期にきていると言えようか。

（長崎ウエスレヤン大学）

目次

精神科デイケアと介護保険を考える／田中英樹	1
【第9回年次大会特集】	
第9回年次大会のご案内	2
大会スケジュール 他	3
【デイケア西から東から、北から南から…】	
振り回され続けた7年間と 時代の新たなニーズ／比嘉千賀	4

「変革の時代におけるデイケア」

～精神科デイケアと高齢者デイケアの目指すもの～

会 期 : 平成16年9月23日(木・祝)・24日(金)・25日(土)

会 場 : ティアラこうとう

東京都江東区住吉2-28-36 電話03-3635-5500

都営地下鉄新宿線・営団地下鉄半蔵門線 住吉駅A4出口より徒歩4分

JR総武線錦糸町駅よりタクシーで基本料金程度

大会長 : 窪 田 彰

事務局長 : 尾崎 多香子

第9回年次大会ご案内

日本デイケア学会第9回年次大会を、9月23日(木祝)～25日(土)に、東京で開催することになりました。

大会のテーマは、『変革の時代におけるデイケア～精神科デイケアと高齢者デイケアの目指すもの～』といたしました。医療・保健・福祉ともに急速に変化している現代の中において、デイケアはどうなっていくのでしょうか。今回の大会では、『変革の時代におけるデイケア』について、様々な立場の方々から、お話ししていただき、参加者の皆様と足元を見つめ直す討論をしてゆきたいと考えております。そこで、以下のような企画をいたしました。

特別講演は、お二人の先生をお願いしています。まず、英国の治療共同体を实践してこられた鈴木純一先生に『治療共同体概念のデイケアにおける役割』というテーマで、集団精神療法の視点から見たデイケア論についてお話ししていただきます。また、厚生労働省の立場から、精神保健福祉課長の矢島鉄也先生に、精神保健福祉と介護保険制度について、および退院促進における精神科デイケアの役割について、また、高齢者デイサービスの現状と役割などについて、お話ししていただく予定です。

教育講演もお二人の先生をお願いしています。当事者の立場からのご意見を、呆け老人をかかえる家族の会の笹森貞子先生に『家族は高齢者デイケアに何を期待しているか』というテーマでお話ししていただきます。また、リハビリテーション医学の立場から、竹内孝仁先生に『高齢者デイケアの果たす機能と役割～パワーリハビリテーション～』というテーマでお話ししていただく予定です。

シンポジウムは、高齢者・精神科・保健所の3つのシンポジウムを企画いたしました。高齢者シンポジウムでは

通所介護・通所リハ・医療機関デイケアと多様化している現状について、それぞれの特徴と違いにおいて検討し、相互理解を深めたいと考えております。精神科シンポジウムでは、精神科入院患者の退院促進にデイケアがどのような方法でどのように機能しているのか、現場の報告を中心に検討したいと考えております。保健所シンポジウムでは、変化しつつある保健所デイケアの今後をめぐって討論したいと考えております。

分科会(一般演題)には、精神科分野・高齢者分野あわせて70演題を越す多数のお申し込みがありました。現場での実践に基づいた様々な発表をもとに、お互い学び、皆様と討論ができることを期待しております。

また、研修会では、参加する皆様自身が十分に発言できる機会を得られることを意図して、テーマディスカッションを企画いたしました。施設見学会も、現場での実践をより多くの参加者の方にご覧になっていただきたいと考え、5つのコースを企画いたしました。

今大会開催に向けて、学会員の皆様をはじめ、関係諸機関の方々に多大なご協力をいただきながら、これまで準備をして参りました。大会当日は、参加者の皆様とともに討論を深め、実りのある大会にしたいと考えております。

精神科デイケアおよび高齢者通所活動に関わる皆様、デイケアに関心をお持ちの多くの皆様のご参加を、心よりお待ちしております。

大会長 窪田 彰

《日本デイケア学会第9回年次大会事務局》

〒130-0013 東京都墨田区錦糸2-6-10地下1階 錦糸町クボタクリニック内(担当 徳重美保子)

FAX: 03-5608-5887

大会専用E-mail: dc9taikai@amber.sakura-catv.ne.jp

第9回年次大会ホームページ: <http://www.sakura-catv.ne.jp/~dc9taikai/>

【大会スケジュール】

9月23日(祝木)	9:00~10:00	総合受付	
	10:00~10:15	開会式	
	10:15~10:45	大会長講演 「変革の時代におけるデイケア」 大会長 窪田 彰	
	10:50~11:50	特別講演 「治療共同体概念のデイケアにおける役割」 鈴木純一(川越同仁会病院院長)	
	13:10~14:10	特別講演 「精神障害者の地域生活支援と介護保険について」 矢島鉄也(厚生労働省 精神保健福祉課長)	
	14:20~18:10	シンポジウム【高齢者】 「それぞれの立場から高齢者デイケアを語る ～通所介護・通所リハ・医療機関デイケア～」	分科会 一般演題 【精神科】
	18:20~19:50	懇親会(立食パーティー)	
9月24日(金)	9:00~9:30	総合受付	
	9:30~10:40	教育講演【高齢者】 「家族は高齢者デイケアに何を期待しているか」 笹森貞子(呆け老人をかかえる家族の会 理事)	シンポジウム【保健所】 「変革の時代における保健所デイケア」
	10:50~12:00	教育講演【高齢者】 「高齢者デイケアの果たす機能と役割 ～パワーリハビリテーション～」 竹内孝仁(国際医療福祉大学大学院 教授)	分科会 一般演題 【精神科】
	12:20~12:50	総会	
	13:00~15:50	シンポジウム【精神科】 「変革の時代における精神科デイケア～退院促進に向けて～」	分科会 一般演題 【高齢者】
	16:00~16:20	閉会式	
9月25日(土)	9:30~11:30	研修会【高齢者】 「在宅介護家族への援助方法」	研修会【精神科】 「デイケアにおける就労支援」
		研修会【精神科】 「デイケアにおけるエンパワメント ～利用者の、スタッフの、プログラムの～」	施設見学会 午前開始 午後開始 A・B C・D・E
	午後		

【参加費について】

- 1) 大会参加 : 一般 事前申込み/7,000円、 一般 当日受付/8,000円
学生 事前申込み/3,000円、 学生 当日受付/4,000円

- 2) 研修会 : 2,000円

- ① 精神科 : 「デイケアにおける就労支援」
② 精神科 : 「デイケアにおけるエンパワメント ～利用者の、スタッフの、プログラムの～」
③ 高齢者 : 「在宅介護家族への援助方法」

- 3) 施設見学会 : A・Bコース 2,000円(昼食付)、C・D・Eコース 1,000円

- A こち亀コース (午前) : 成仁医院 (重度痴呆デイケア・精神科デイケア・介護老人保健施設)
B 池袋コース (午前) : 榎本クリニック、ほづみクリニック (大規模精神科デイケア)
C 錦糸町コース (午後) : 都立墨東病院 (精神科救急)、クボタクリニック (精神科診療所デイケア)
D 高齢者コース (午後) : 順天堂東京江東高齢者医療センター (最新高齢者医療機関)
E 松沢病院コース (午後) : 都立松沢病院 (都立病院デイケア)

- 4) 懇親会 : 5,000円(事前申込みまたは当日会場でお申込みいただけます)

- 5) お弁当 : 1食1,000円(9月23日木曜祝、24日金曜、ご希望の際は事前申込みが必要です)

* 研修会、施設見学会は定員制となっております。受付は先着順になります。お早めにお申込み下さい。

* 研修会、施設見学会の参加の可否については、ご請求書にてご確認ください。(ご請求書は8月中旬にお送り致します。)

【事前申込みのご案内】

- 詳しくは別紙「大会参加・宿泊等ご案内」をご覧ください。
- 別紙「大会参加事前申込み・宿泊等申込書」に必要事項をご記入の上、下記まで郵送またはFAXでお送り下さい。

<大会参加・宿泊等申込みに関するお問い合わせ>

JTB湘南藤沢支店 担当 岸・川口・川田・西山 受付時間 平日9:30~17:30

〒251-0055 神奈川県藤沢市南藤沢23番10-101

TEL:0466-27-3110 FAX:0466-27-6850

締切 : 平成16年8月6日(金) 17:00必着

デイケア 西から東から、北から南から…

《デイケア苦勞話》

振り回され続けた7年間と 時代の新たなニーズ

比嘉千賀

さいたま市にささやかなクリニックと付設するデ
イナイトケアを開設して7年が経ちます。広さとスタッ
フ数から1単位のみなので対象は特に限定していま
せん。苦勞と言えまはそれかもしれません。

パンフには「こころに悩みがあって家以外に安心で
きる居場所がない人、人とうまく付き合えず友達がな
くて孤独な人、家にこもりがちな人、生活リズムを整
えたい人、アルコールや過食など喀癖行動に悩んでい
る人、こころの休息と職場復帰をめざす人」どうぞと
掲げており、10代後半から60歳ぐらいまで、そして統
合失調症は少なく気分障害・神経障害・人格障害・摂食
障害・薬物アルコール依存症・ギャンブル依存症・心理
的発達障害など幅広く、中にはDV被害女性や社会的
ひきこもりの青年たちなどなど多彩な顔ぶれが集いま
す。察しがつくでしょうがスタッフたちはしじゅう振
り回され、治療効果があがっているのかいないのか悩
む日々でもあり、キャパシティとタフさが要求され
ます。

しかしアディクション関連領域にかかわってきた私
の独断と偏見では、デイケアが統合失調症など精神障

害者のリハビリを主たる目的にする時代は過ぎたので
はないかと思うのです。こころの病いの裾野が広がり、
さまざまな生きづらさの故に社会からドロップしたり
対人関係の困難さや行動の障害に喘ぐ人たちが急増し
ていて、彼らの居場所や治療・援助・体験の場が求めら
れているのではないのでしょうか。特に最近、長年ひき
こもっていた青年たち（診断名がつけがたい）でデ
イケアにつながるケース増えてきています。

種々依存症や人格障害関連のメンバーたちによっ
て、良い意味ではとても活気のあるデイケアになりま
すが、アクティングアウトや13ステップ（恋愛問題）
もしばしばです。スタッフへの陽性転移や陰性転移が
生じたり、またスタッフが様々な感情を呼び起こされ
るのも日常的で、若いスタッフたちは試され、大いに
悩まされ鍛えられもします。でも私たちがへたばらな
いので気長に付き合い続ける中から変化していくもの
があるという手応えも感じています。ひどい摂食障害＋
人格障害ケースが5～6年の経過で回復就労したり、ま
たかつて私たちスタッフ全員がさんざん手を焼き、強
い反対を押して14ステップ？（出産）を決行したカッ
プルが、今ではつぶらな瞳の2歳児の愛情深く逞しい
親に成長していたりして、人間の柔軟さや成長の可能
性を示してくれています。

（埼玉県大宮市 ひがメンタルクリニック）

日本デイケア学会入会申込みについて

日本デイケア学会は、デイケアの発展と向上を意図し、学術研究の促進と会員相互の交流の推進を目的に、平成8年に研究会として設立され、その後平成10年に学会に名称変更されました。

現在約800名の会員があり、精神科デイケア、老人デイケア・デイサービスの分野で業務に従事している方が大部分を占めておりますが、今後幅広くその他のデイケアおよび関連分野で活躍されている方々の参加も望まれます。また、年次大会は一昨年は水戸で、昨年は加賀で開催されました。今年度は9月に東京で開催されます。

1. 入会申込書

入会申込書、入会案内、会則、および郵便振込用紙をお送りいたしますので、下記事務局までご連絡ください。

2. 入会金および年会費

正会員：入会金1,000円＋十年会費8,000円＝9,000円

団体会員：3名までは、入会金5,000円＋十年会費20,000円＝25,000円

（3名を越えるときは、1名につき年会費5,000円を加算してください）

3. 資格（会則の一部を引用します）

正会員は、医療、保健、福祉、教育等の分野において、デイケアおよび関連業務に従事または従事しようとする個人で、本会の目的に賛同し会費を納めるものとする。

団体会員は、デイケア業務をおこなう団体、施設、法人等で、本会の目的に賛同し会費を納めるものとし、一定数のデイケア従事者を登録することができる。

4. 事務局

〒113-0033 東京都文京区本郷2-4-14 株式会社キタ・メディア内 日本デイケア学会事務局

TEL&FAX：03-3813-6368 e-mail：info@daycare.gr.jp

URL：http://www.daycare.gr.jp